

集会アピール（案）

3.8 国際女性デーは、“女性の政治的自由と平等のために行動する記念日”と位置付けられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、世界各地で様々なイベントや運動が行われています。

私たちも、この「2024 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動中央集会」において、ジェンダー平等の推進、多様性を認め合う社会の実現に向けた取り組みをさらに前進させていく決意を確認しました。

今年の 3.8 国際女性デー全国統一行動のテーマは、“つなげよう 取り組みを高めよう 意識を”です。

世界に目を向けると、北欧を中心に意思決定の場でのジェンダー平等が進んでおり、世界各国のジェンダー平等推進の取り組みは進展しています。

一方、日本のジェンダーギャップ指数の順位は下落傾向が続いており、世界各国が取り組みを進める間、日本は足踏みをしてきたと見られています。1月1日に発生した能登半島地震では、避難所運営が男性中心で、女性の声が届きにくい事例が見られました。ジェンダー平等推進の遅れは、災害リスクを広げるとの指摘もあります。

連合が、「労働組合における男女平等参画」「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」を目標に進めている「連合『ジェンダー平等推進計画』フェーズ1」も残り7ヵ月となりました。取り組みは着実に前進していますが、さらに強化していく必要があります。これまでの取り組みを検証して次の取り組みへとつなげるとともに、ジェンダー平等推進に向けて意識をさらに高めていかなければなりません。

ジェンダー平等推進は、人権を確保し、社会の持続可能性を高める取り組みです。

本集会に集まった一人ひとりの行動で、年齢や性、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人たちの人権が尊重され、安心して働くことができる持続可能な社会の実現をめざしましょう。

2024年3月8日

連合 2024 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動 中央集会